

平成 26 年路上故障の実態調査結果

国土交通省では、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用や保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的として、（一社）日本自動車連盟（JAF）の協力のもと、平成26年9月から11月の間に発生した自動車の路上故障について、装置別及び部位別の故障発生状況の分析を行いましたので、その分析結果を表1～表3及び図1に示します。

道路別の故障発生件数及び割合についてまとめたものを表1及び図1に示します。表1の「一般道路」の装置別故障発生件数の割合をみると、①電気装置46.1%（前年49.1%）、②走行装置28.2%（前年26.4%）、③エンジン本体8.6%（前年6.6%）と、電気装置による故障発生件数の割合が最も高くなっています。また、表1の「高速道路」では、①走行装置54.0%（前年54.6%）、②エンジン本体13.5%（前年10.9%）、③電気装置9.0%（前年9.6%）と、走行装置による故障発生件数の割合が最も高くなっています。

このように、「一般道路」と「高速道路」では故障発生状況に違いがみられます。

表1 道路別装置別故障発生件数及び割合

No.	装置名	発生件数（件）					
		一般道路		高速道路		全体	
1	電気装置	45,538	(46.1)	1,068	(9.0)	46,606	(42.1)
2	走行装置	27,841	(28.2)	6,410	(54.0)	34,251	(30.9)
3	エンジン本体	8,501	(8.6)	1,605	(13.5)	10,106	(9.1)
4	冷却装置	5,028	(5.1)	974	(8.2)	6,002	(5.4)
5	動力伝達装置	4,578	(4.6)	631	(5.3)	5,209	(4.7)
6	燃料装置	3,095	(3.1)	310	(2.6)	3,405	(3.1)
7	電子制御装置	1,831	(1.9)	178	(1.5)	2,009	(1.8)
8	潤滑装置	1,077	(1.1)	608	(5.1)	1,685	(1.5)
9	制動装置	780	(0.8)	53	(0.4)	833	(0.8)
10	かじ取り装置	610	(0.6)	23	(0.2)	633	(0.6)
	総計	98,879	(100.0)	11,860	(100.0)	110,739	(100.0)

※表1内の（ ）は、各総計に対する発生件数割合（%）を示す。

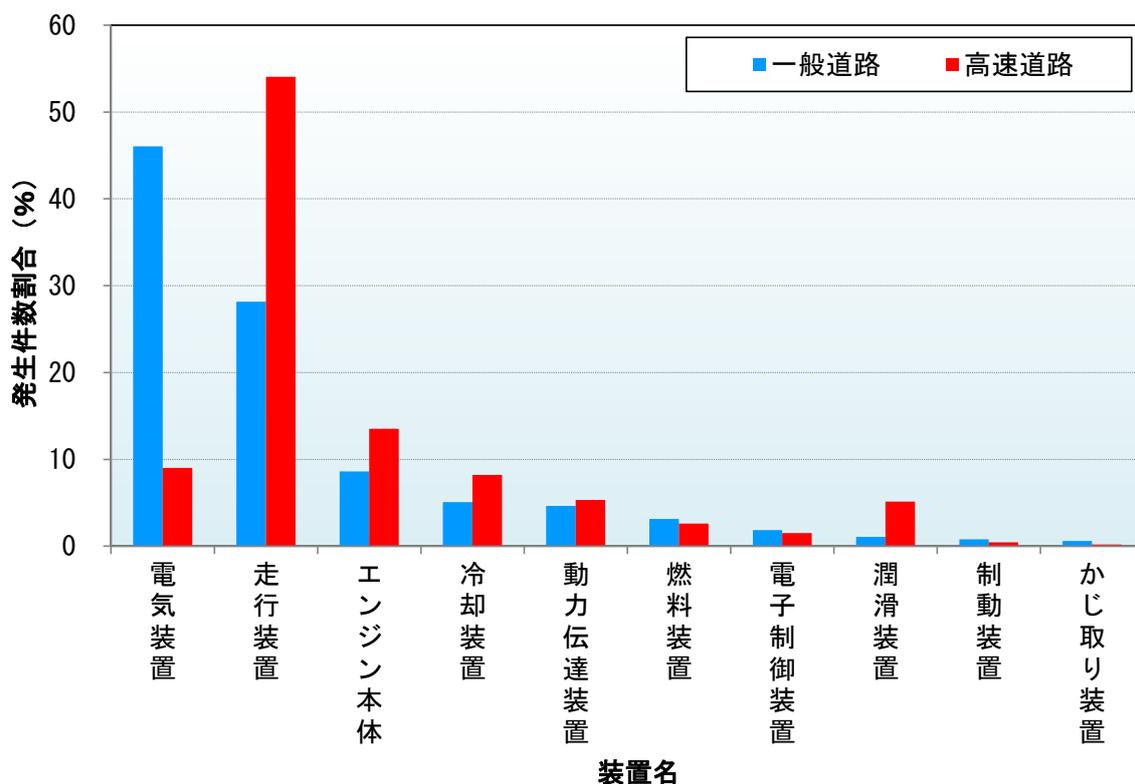


図1 道路別装置別故障発生件数の割合

次に、道路別に故障部位別発生件数の割合をまとめたものを表2及び表3に示します。

表2の「一般道路」についてみると、①バッテリー35.2%（前年38.2%）、②タイヤ27.7%（前年26.0%）、③オルタネータ4.3%（前年4.4%）と、バッテリーの故障発生件数の割合が高くなっています。その中でも、過放電の割合がバッテリー故障全体の80.5%を占めています。バッテリーの長期使用による劣化、あるいは電装品の複数同時使用等のオルタネータからの発電量を超えて電力を消費する状況が続くことで、過放電状態になることが考えられます。

また、表3の「高速道路」については、①タイヤ53.4%（前年54.0%）、②潤滑油5.1%（前年5.0%）、③冷却水5.1%（前年5.3%）と、タイヤの故障発生件数の割合が高く、過去の統計からもタイヤの故障発生件数の割合が最も高く、高速道路走行前にタイヤの摩耗量や外観の傷の確認及び空気圧の確認等の日常点検を確実に実施することが、故障発生の防止に繋がります。

表2 一般道路における故障部位別発生件数の割合

一般道路			
順位	部位	発生件数の割合	主な故障状況
1	バッテリー	35.2%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 過放電 ■ 破損、劣化 ■ 端子部接続不良 ■ 液不足
2	タイヤ	27.7%	<ul style="list-style-type: none"> ■パンク、バースト ■ 空気圧不足
3	オルタネータ	4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブラシ不良 ■ レギュレータ不良 ■ ダイオード不良 ■ コイル断線
4	冷却水	2.6%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不足、水漏れ ■ 汚れ ■ 凍結
5	ラジエターファン・ファンベルト	1.9%	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゆるみ、切れ ■ 電動ファン不良 ■ ファン破損
6	スタータ	1.6%	<ul style="list-style-type: none"> ■ リレー不良 ■ 端子部接続不良 ■ かみ合い不良 ■ イグニッションスイッチ不良
7	クラッチ	1.5%	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべり ■ オイル漏れ ■ ワイヤ（リンク）不良 ■ 切れ不良
8	トランスミッション（A/T）	1.3%	<ul style="list-style-type: none"> ■ ギヤ操作不能 ■ オイル漏れ・不足 ■ 異音
9	潤滑油	1.1%	<ul style="list-style-type: none"> ■ オイル不良 ■ オイルパンからの漏れ
10	フューエルポンプ	0.8%	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポンプリレー不良 ■ バルブ不良 ■ 配線不良 ■ ダイヤフラム不良
	その他	22.0%	

表3 高速道路における故障部位別発生率

高速道路			
順位	部位	発生件数の割合	主な故障状況
1	タイヤ	53.4%	<ul style="list-style-type: none"> ■パンク、バースト ■空気圧不足
2	潤滑油	5.1%	<ul style="list-style-type: none"> ■オイル不良 ■オイルパンからの漏れ
3	冷却水	5.1%	<ul style="list-style-type: none"> ■不足、水漏れ ■汚れ ■凍結
4	オルタネータ	3.1%	<ul style="list-style-type: none"> ■ブラシ不良 ■レギュレータ不良 ■ダイオード不良 ■コイル断線
5	ラジエターファン・ファンベルト	2.4%	<ul style="list-style-type: none"> ■ゆるみ、切れ ■電動ファン不良 ■ファン破損
6	バッテリー	2.0%	<ul style="list-style-type: none"> ■過放電 ■破損、劣化 ■端子部接続不良 ■液不足
7	トランスミッション (A/T)	1.8%	<ul style="list-style-type: none"> ■ギヤ操作不能 ■オイル漏れ・不足 ■異音
8	クラッチ	1.8%	<ul style="list-style-type: none"> ■すべり ■オイル漏れ ■ワイヤ（リンク）不良 ■切れ不良
9	ベルト駆動機器・プーリーのステータ類	0.8%	<ul style="list-style-type: none"> ■取り付けボルト脱落 ■破損
10	クリップ・ハブ・ベアリング	0.7%	<ul style="list-style-type: none"> ■ゆるみ ■異音 ■焼き付き
	その他	23.9%	